6 局区別予算

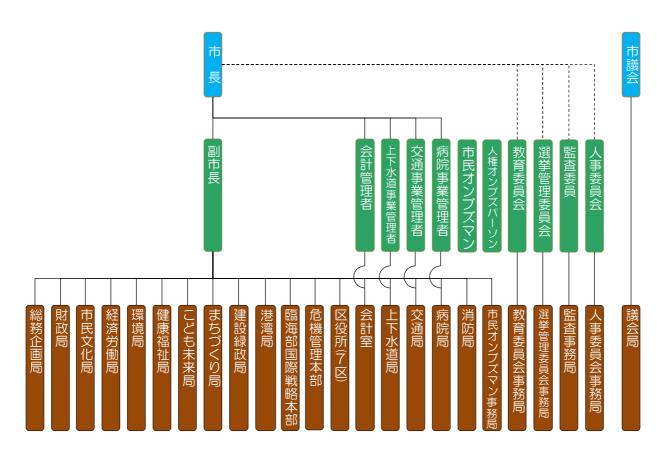
市長は、その権限に属する仕事を分担するため、条例で局という内部組織を設けています。

また、市民の皆様に密接に関連する業務については、市内の区域を分けて 区役所を設けています。

ここでは、主要な事務事業を所管する局区別に、主な事業をご紹介します。



組織図



総務企画局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-2045 内) 21301

78,832,124千円 (対前年度比:+53.1%)

<主な事業>

災害・危機事象に備える対策の推進

本庁舎等建替えの取組

34, 141, 026千円

- ○災害対策活動の中枢拠点として、高い耐震性能と業務継続性を確保した新本庁舎の新築工事 (令和4年度完成予定)を進めます。
- ○第2庁舎解体と跡地広場整備の設計業務を進め、工事(令和6年度完成予定)に着手します。

市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり

SDGs未来都市かわさきの推進

○SDGsの達成に向けて、川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」の 運用や、企業の主体的な行動を促すためのセミナーの実施、多様なステークホルダーとの連携 を強化するための「川崎市SDGsプラットフォーム」の運用等の取組を推進します。

デジタル技術の活用による市民利便性の向上

行政手続のオンライン化・窓口等のキャッシュレス化の推進 209.115千円

○いつでも、どこからでもスマートフォン等から原則オンラインで各種手続の申請ができるよう、 オンライン決済等に対応した次期電子申請システムを導入します。また、市の施設・窓口にお けるキャッシュレス決済の導入拡大を図ります。(拡充)

デジタルトランスフォーメーションに向けた情報化の推進

116,078千円

- ○市が実施している子育で 11 手続と介護 11 手続を合わせた 22 手続につ いて、マイナンバーカードを用いたオンライン手続を可能にするための システム(ぴったりサービス)との連携システムを構築します。(新規)
- ○住民基本台帳や税などの対象 20 業務につい て、外部の専門組織の知見を活用しながら、国 が定める標準システムへの移行が令和7年度 末までに完了するよう、取組を推進します。 (新規)
- ○NPO法人、地域のデジタル人材、ICT関連 事業者と連携したデジタル活用支援講座を実 施します。(拡充)





特別自治市制度の実現に向けた取組の推進

特別自治市制度の実現に向けた広報活動等の実施

27.157千円

○町内会・自治会等を対象とした出前説明会の開催やイベント等でのパネル展示、冊子配布等、 普及啓発の取組を実施します。また、指定都市市長会等の関係団体と連携して国へ要請を行う ほか、移行後の影響を調査するなど、制度化に向けた取組を推進します。(新規)

都市イメージの向上とシビックプライドの醸成

シティプロモーションの推進

○多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出す ことができるまちを目指していくという、ブランドメッセージへの共感 を、あらゆる施策・取組、民間事業者等との連携を通じて喚起すること で、シビックプライドの醸成を目指します。

○研修実施等による職員の広報マインドの底上げと情報発信力の強化を推進し、市役所全体で都市イメージの向上を図ります。

Colors, Future! いるいろって、未来。 川崎市

33,003千円

ブランドメッセージロゴマーク

市制100周年記念事業の推進

24. 772千円

○歴史的な節目を、本市のあゆみや歴史・文化を振り返るとともに、あたらしい川崎を生み出していくスタートラインとするため、計画策定や実施体制の整備などの取組を進めます。(新規)

迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進

車座集会等の実施

160,067千円

○市政の課題解決に向けて、市長が市民の方々と直接対話をする「車座集会」の実施や「市長への手紙」、市政に関する問合せ・意見・相談等を一元的に受け付けるコンタクトセンターの運営等、様々な方法で市政に関する声を広く聴取し、市政運営に生かします。また、市政に対する市民の意識を多面的に調査する「かわさき市民アンケート」を実施します。

魅力ある広報の推進

406.489千円

○市政だよりやホームページ、テレビ・ラジオ等の各種媒体の特徴を生かし、市政情報や本市の 多彩な魅力を発信します。また、ホームページのリニューアルに向けた取組を進めます。(拡充)

働き方・仕事の進め方改革の推進

市役所内部の働き方・仕事の進め方改革の推進

278, 385千円

- ○総務事務センターへの庁内総務事務の一層の集約化を推進し、効率化を図ります。
- ○令和5年度の新本庁舎移転に向け、事務用品供給等の業務を集約化し、障害者雇用により運営するワークステーション機能の導入に向けた試行・準備を行い、障害者の活躍推進と庁内業務の効率化を図ります。
- ○外部の専門的知見の活用による職場の課題分析や業務改善支援等を通じて、行政手続のオンライン化等のデジタル化の推進に合わせた業務プロセス改革を推進します。また、AIやRPA (ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用により業務効率化を図ります。(拡充)
- ○テレワークを一層推進し、業務継続性の確保と職員のワーク・ライフ・バランスの向上を図ります。
- ○ペーパレスをはじめとする新たなワークスタイルに向けて、新本庁舎におけるオンライン会議環境の整備や、プリンタ、FAX及びスキャナ機能の統合等のオフィス改革を推進します。 (拡充)

資産マネジメントの推進

公共施設の資産保有の最適化、長寿命化等の取組の推進

3.374.675千円

- ○「資産マネジメント第3期実施方針」に基づく資産保有の最適化や、長寿命化等の取組を推進します。(拡充) ※108ページ参照
- ○公共建築物及び公有地・公共施設に係る崖の防災対策を推進します。(新規)

財政局

<予 算 額>

問合せ先:庶務課 200-2175 内) 24101

7.091,163千円 (対前年度比:+1.9%)

<主な事業>

ふるさと納税の取組の推進

251.033千円

- ○川崎の魅力ある資源を発掘、再確認し、市内外へ発信することを通じて、本市を応援してくれ る方を増やすとともに、川崎市の魅力が広く認知されることを促進し、市民の「川崎への愛着・ 誇り(シビックプライド)」の醸成につなげます。
- ○返礼品新規事業者の拡充や寄附者の利便性の向上に取り組むとともに、ふるさと納税に係る広 報を行うことにより、ふるさとへの貢献や応援したいという納税者の想いを実現するための取 組を推進します。

市有財産有効活用の取組の推進

25. 474千円

○財政効果のみならず、多様な効果創出に向けた財産の有効活用を推進します。

税務事務の運営及び市税収入確保に向けた取組の推進 1,838,069千円

- ○適正・公平な税務行政を推進するため、市民の利便性向上、税務事務の業務改善、持続可能な システム運用に向けた市税システムの更改を進めます。
- ○「納税お知らせセンター」からの電話による納付呼びかけなどの初期未納対策を着実に推進す ることに加えて、納期内納付促進の取組をきめ細かく実施するとともに、納付機会の拡大を図 り、より一層の市税収入確保に向けた取組を推進します。

市債発行とIR(投資家向け広報)の取組

IRの取組

市が公園、道路、学校、文化施設など身近な公共施設の整備のために必要となる資金の 一部を借り入れるため、定期的に「川崎市債」を発行しています。

市債を安心してご購入いただくためにも、投資家向けの説明会、IRニュース、ホーム ページなどにより、市の取組や財政状況、市債に関する情報を積極的に発信しています。

川崎市ホームページ「投資家情報(IR)」

川崎市 投資家情報

http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0.html



携帯電話やスマートフォン等 からもご覧いただけます。

川崎市 IR ニュース (月1回程度発行)

川崎市IRニュース

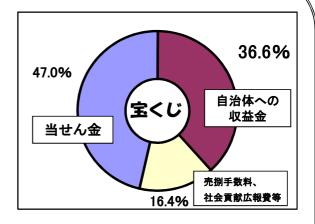
グリーンボンドの発行

令和4年3月に改定予定の川崎市地球温暖化対策推進基本計画の取組の一つとして、使 途を環境改善効果のある事業に限定した市債(グリーンボンド)を発行し、ESG(環境・ 社会・企業統治)投資の活性化を図ります。

宝くじ収益金

宝くじは、売上げの40%程度が自治 体への収益金となり、発行・発売団体 である47都道府県、20政令指定都市 それぞれの売上げに応じて配分されま す。

宝くじ収益金は公共事業等に充てる ものとされ、本市では、小児医療費の 助成、予防接種、公園施設の整備など 身近なまちづくりに役立てています。



宝くじ1枚の中身(令和2年度決算)





令和4年度 宝くじ収益金を充当する主な事業

生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり

子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

〇予防接種

○がん検診

○小児医療費の助成

〇妊婦の健康診査

○消防車両・救急車両の購入 ○道路維持補修

〇地域子育て支援

〇民間保育所整備

市民生活を豊かにする環境づくり

活力と魅力あふれる力強い都市づくり

○資源物の分別収集

〇公園施設の整備

○芸術文化の振興

宝くじのお買い求めはぜひ川崎市内で!

都市計画税の使途

都市計画税は、下水道、公園緑地、道路などの都市計画事業又は土地区画整理事業に要す る費用に充てるために課税される目的税です。

令和4年度予算では、対象事業費約422億円に対して、都市計画税の歳入約275億円を充 当しています。

森林環境譲与税の使途

森林環境譲与税は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林 整備及びその促進に関する費用に充てることとされています。

令和4年度予算では、公共施設の木質化、民間施設の木質化支援、適正な緑地管理など対 象事業約1.6億円に対して、森林環境譲与税の歳入約1.6億円を充当しています。

※森林環境税は、令和6年度から課税される国税で、個人住民税の均等割と併せて市町村が 賦課徴収を行います。

市民文化局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-2255 内) 26101

8,982,548千円 (対前年度比:+7.3%)

<主な事業>

共生社会の実現に向けた取組の推進

かわさきパラムーブメントの推進

57.589千円

- ○誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりを実現するために「かわさきパラムーブメント」を推進し、レガシーを未来に遺していく取組を進めます。
- ○東京2020大会における英国ホストタウンとしての取組実績を活かし、共生社会の実現に向けた先導的共生社会ホストタウンの取組を進めます。

防犯・交通安全対策の推進

安全・安心なまちづくりの推進

603,944千円

○「防犯灯LED化ESCO事業」によるLED防犯灯の維持管理及び新規設置を実施し、夜間の通行の安全を確保します。また、地域における防犯カメラの設置を支援します。

交通安全対策の推進

56,515千円

○広報・啓発活動などを通じ、市民、交通安全関係団体、警察、行政等が協働・連携して、交通 事故のない安全で住みよい社会の実現を目指します。

被害の軽減と回復に向けた犯罪被害者等支援施策の推進

犯罪被害者等支援の推進

13 393千円

○犯罪被害者等に寄り添った支援の充実に向けて、ワンストップ支援窓口の設置や日常生活支援 等の必要な支援を行います。(拡充)

市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり

市民参加の促進と多様な主体による協働・連携の推進

20,089千円

- ○「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、「市民創発」による持続可能な暮ら しやすい地域の実現を目指します。
- ○若者をはじめとした多様な世代・立場の市民による市政への参加促進に向けた取組を進めます。

町内会・自治会、市民活動団体、NPO法人などの活動支援

586. 260千円

○地域活動の全市的な交流・情報発信の場である総合自治会館を拠点に、地域コミュニティの中核である町内会・自治会への自発的な加入や参加の促進、町内会・自治会の活性化支援に取り組みます。また、NPO等市民団体の活動の活性化を図るため、市内の中間支援組織と連携しながら、人材育成、資金調達、活動場所の確保、情報発信等に向けた支援を行います。

平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進

人権施策の推進

46.073千円

- ○人権を尊重し、共に生きる社会を目指して、平等と多様性(ダイバーシティ)を尊重しながら 人権施策を総合的に推進します。
- ○「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づく取組を進めます。

外国人市民施策の推進

15,604千円

○「川崎市多文化共生社会推進指針」に基づく施策の推進、「外国人市民代表者会議」の運営、窓口の多言語対応、情報の多言語化・やさしい日本語の活用など、「多文化共生社会」の実現に向けた取組を進めます。

男女共同参画社会の形成に向けた施策の推進

男女平等施策の推進

15.764千円

○性別に関わりなく、家庭、学校、働く場などあらゆる場において個性や能力の発揮できる男女 共同参画社会の実現を目指し、教育及び啓発の推進や、職業生活における女性の活躍推進と家 庭生活への男性の参画促進、地域における男女共同参画の推進に取り組みます。

市民の文化芸術活動の振興

市民文化活動の支援

551, 431千円

○文化団体等と協働・連携した各種文化芸術事業を始め、「アート・フォー・オール」推進モデル 事業、パラアートに関する取組等を推進し、市民の文化芸術活動の振興を図ります。(拡充)

音楽や映像のまちづくりの推進

音楽のまちづくりの推進

61, 775千円

○「音楽のまち・かわさき」推進協議会等の多様な活動団体と協働・連携しながら、誰もが身近 に音楽を楽しめる環境づくりを進め、豊かな心を育む「音楽のまちづくり」を推進します。

映像のまち・かわさきの推進

22. 435千円

○「映像のまち・かわさき」推進フォーラムを中心に、映像に関する豊富な地域資源を活用し、 映像に親しむ機会の創出とまちの魅力を発信することで、「映像のまちづくり」を推進します。

被災収蔵品の修復等と新たな博物館、美術館の整備に向けた取組の推進

市民ミュージアム管理運営事業の推進

888, 486千円

○令和元年東日本台風により被災した収蔵品の修復等を推進するとともに、アウトリーチ等により博物館、美術館活動を継続します。また、「(仮称)新たな博物館、美術館に関する基本構想」の策定に向けた総合的な検討を行います。

スポーツのまちづくりの推進

市民スポーツの推進

250.473千円

- ○スポーツ関係団体と連携し、かわさき多摩川マラソンなど、多くの方が気軽に参加できる各種 スポーツ事業を実施するとともに、障害者のスポーツ大会の開催や、スポーツセンターにおけ る障害者のスポーツ参加機会の充実を図るなど、パラスポーツの普及・促進に取り組みます。
- ○若者文化の環境整備に向けて、体験会の実施や整備場所等の検討及び調整を行うとともに、若 者文化創造発信拠点の整備・運営を支援します。また、ブレイキンなどの世界的な大会を誘致 するとともに開催を支援します。 (拡充)

スポーツを活用したまちづくり

36, 116千円

○かわさきスポーツパートナーと連携し、ホームゲームの市民観戦や、ふれあいスポーツ教室の 実施など、ホームタウンスポーツを推進するとともに、スポーツを通して本市の魅力・活力を 高めるまちづくりを進めます。

経済労働局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-2320 内) 28101

24,689,203千円 (対前年度比:△25.4%)

<主な事業>

防犯対策の推進

消費生活の安全の推進

90.124千円

○消費者行政推進計画に基づき、様々な消費者トラブル等に関する啓発・相談を実施します。

農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

多面的な機能を有する都市農地の保全の推進

48.407千円

○生産緑地の貸借マッチング、特定生産緑地の指定を進め、都市農地の保全・活用を推進します。

アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化

経済の国際化への対応の推進

40,077千円

○川崎市海外ビジネス支援センターでの相談対応や、自社ホームページの多言語化等を支援する コンテンツグローバル化促進事業補助金等により、市内企業の海外展開を推進します。

脱炭素社会の実現に向けたグリーンイノベーションの推進

51,261千円

- ○川崎国際環境技術展やかわさきグリーンイノベーションクラスター等での情報発信、販路開拓、マッチング支援を行います。また、マッチングを通じて創出された取組の伴走支援や好事例の見える化、中小企業向けの脱炭素への意識醸成セミナー等を実施します。(拡充)
- ○ESG投融資の普及により、中小企業の脱炭素経営等を 促進します。(新規)



第14回川崎国際環境技術展

魅力と活力のある商業地域の形成

地域特性に応じた活力ある商業振興の推進

287, 953千円

- ○商業者のデジタル化や意欲ある商業者の発掘・育成に向けた取組を推進します。(新規)
- ○商店街が実施するイベントや地域課題の解決等に向けた取組を支援します。(拡充)

中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

産業競争力の強化及び社会変化への対応の推進

566, 851千円

- ○中小企業の競争力強化に向けて、デジタル技術活用の事例やメリット、取組手法等に関する セミナーや専門家による伴走支援を実施します。(新規)
- ○経営者の高齢化や自然災害等に対応した事業承継・事業継続力強化に向けた取組を支援します。
- ○デジタル化やICT活用等による中小企業の働き方改革と生産性向上の取組を支援します。
- \bigcirc SDG s 経営に関する相談対応やセミナー等の実施により、中小企業のSDG s 経営に向けた 取組を支援します。(新規)

中小企業の経営安定の支援

21, 493, 071千円

○社会経済環境の変化に対応した制度融資で中小企業を支援します。

企業の立地・活動環境の向上

54.028千円

○事業拡張など、事業者のニーズに対応した市内への企業立地を支援します。(新規)

都市農業の強みを活かした農業経営の強化

持続的・自立的な農業経営の推進と創造

120,533千円

○新規就農者への経営支援等を促進するため新たに市内農地で農業生産を開始する法人等に対する支援を行い、都市農業の活性化を図ります。(拡充)

ベンチャー支援、起業・創業の促進

ベンチャー支援の推進

101, 302千円

○起業家支援拠点K-NIC等により、起業家やベンチャー企業の創出・成長支援を実施します。 また、都市間の知的財産交流ネットワークを広げ、企業間連携による新製品開発を支援します。

地域を支える産業の育成・市内事業者等の新分野への進出支援

ウェルフェアイノベーションの推進

47.860千円

○「川崎市複合福祉センター ふくふく」 1 階に令和 3 年 8 月に開設した「Kawasaki Welfare Technology Lab (ウェルテック)」を福祉産業振興の拠点とし、福祉分野の製品開発や改良を支援します。

科学技術を活かした研究開発基盤の強化

先端科学技術の振興及び産業活動・交流の促進

98, 184千円

○「新川崎・創造のもり」において、かわさき新産業創造センター(KBIC)を拠点として、 ベンチャー企業等の成長や量子コンピューティング技術の普及と人材育成を促進します。

人材を活かすしくみづくり

求職者の特性に合わせた就業機会の提供及び多様な人材の活用 102,519千円

- ○キャリアサポートかわさきにおいて、求人開拓体制の拡充を維持するほか、就職氷河期世代や 女性等、求職者の多様なニーズに応じた総合的な就業支援を実施します。
- ○コネクションズかわさきによる若年無業者等の職業的自立支援を実施します。
- ○求職者支援事業と連携を強化し、市内中小企業の多様な人材の活躍を支援します。

働きやすい環境づくり

勤労者福祉の充実

121.253千円

○市内勤労者がより充実した生活を送れるよう、金融機関と連携した貸付制度や文化体育事業、 ワーク・ライフ・バランスの促進等を通じて勤労者福祉の向上に取り組みます。

川崎の特性を活かした観光の振興

観光資源の創出及び集客・交流の促進

258, 104千円

- ○「かわさき きたテラス」における観光情報の提供や、観光協会や民間事業者等と連携したプロモーション活動の強化、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えたマイクロツーリズム及び「ナイトタイムエコノミー」の取組などにより、市内の観光振興を図ります。
- ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市内宿泊施設における市内在住・在勤者のテレ ワークを促進するとともに、市内宿泊施設の利用促進に取り組みます。

環境局

<予 算 額>

問合せ先: 庶務課 200-2375 内) 29101

38,748,892千円 (対前年度比:+30.2%)

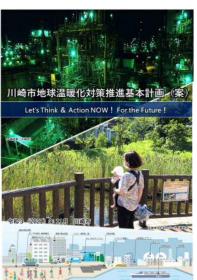
<主な事業>

地球環境の保全に向けた取組の推進

地球温暖化対策の推進

○令和4年3月に改定予定の川崎市地球温暖化対策推進基本

- 計画に基づき、脱炭素化に向けた取組を推進します。
 ・脱炭素モデル地区の脱炭素化に資する優れた事業に対する
 - 支援(新規) ・脱炭素先行地域づくりや事業者の新たな評価・支援制度の
 - 構築(新規)
 ・公用乗用車への電動車(HV、電気自動車等)の率先導入(拡充)
 - ・庁舎等建物内照明のLED化(拡充)
 - ・かわさきエコ暮らし未来館等を活用した環境教育、普及 啓発の実施
 - ・川崎温暖化対策推進会議や地球温暖化防止活動推進センター・推進員と連携した協働の取組
 - ・低CO₂川崎ブランド、川崎メカニズム認証制度による低CO₂製品・技術等の普及促進



682, 487千円

川崎市地球温暖化対策推進 基本計画(改定案)

・事業活動地球温暖化対策計画書・報告書制度による事業者の温室効果ガス排出抑制の促進

環境エネルギー施策の推進

57,830千円

- ○地域エネルギープラットフォームを担う「地域エネルギー会社」の設立に向けた取組を推進します。 (新規)
- ○公共施設への更なる再生可能エネルギー導入を目指し、PPAモデル(屋根貸し自家消費型 太陽光発電設備設置)の活用に向けた取組を推進します。(新規)
- ○自立分散型エネルギーの確保に向け、創エネ・省エネ・蓄エネの総合的な取組を推進します。
 - ・個人住宅を対象にエネルギー管理装置と併せて導入する太陽光発電、家庭用燃料電池、蓄電池、V2H(同時導入するEV車含む)、ZEHや高水準なZEH+等の導入の支援
 - ・個人住宅の防災対策として、蓄電池や蓄電池と併せて導入する太陽光発電の導入の支援
 - ・共同住宅を対象として共用部に太陽光発電を導入することを条件に、専有部の開口部断熱(断 熱窓)や共用部の高効率照明等の導入の支援
 - ・中小規模事業者への省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入の支援

グリーンイノベーションの推進

9.723千円

○環境技術を活かしたグリーンイノベーションの推進に向けて、企業連携及び支援の取組を推進 します。

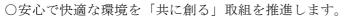
地域環境対策の推進

大気・水環境等に係る地域環境対策事業の推進

403.508千円

- ○安全で良好な環境を「保全する」ための基盤となる取組を推進します。
 - ・環境基準の達成維持のための法律や市条例に基づく事業所等の監視・指導
 - ・大気や水などの環境モニタリングの実施等
 - ・騒音、振動、悪臭などの相談対応や水質事故などの 緊急時等の対応





- ・水辺に親しむ機会の創出や市民参加の促進等、環境配慮意識の向上に 向けた取組
- ・交通環境配慮行動の促進や化学物質の適正管理の促進等、環境負荷の低減に向けた取組



持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進

プラスチック資源循環施策の推進

23,716千円

○プラスチックごみの一括回収に向けた実証事業等を実施します。(新規)

減量リサイクルの推進

315,046千円

- ○ごみの減量化・資源化に向けた取組を推進します。
 - ・3Rの普及啓発・環境学習等の推進
 - 資源集団回収事業の実施
 - 資源物の拠点回収事業の実施
 - 地域環境美化の推進

生ごみ減量のための3きり (使いきり・食べきり・水きり) の推進

・食品ロスの削減、生ごみの減量化・リサイクルの推進

資源物・ごみ収集事業の推進

3, 393, 847千円

- ○ごみの減量化・資源化と併せて、効率的・効果的な収集運搬を実施します。
- ○資源物等の収集運搬業務委託を実施します。

資源物・ごみ処理事業の推進

4.731.795千円

- ○ごみの適正かつ安定的な焼却処理を実施します。
- ○資源物の資源化処理を委託により実施します。
- ○放射性物質が検出され、一時保管を行っているごみ焼却灰については、引き続き試験的埋立を 実施します。

廃棄物処理施設等の整備

21,822,291千円

- ○廃棄物処理施設等を安定的に稼動させるための補修・整備を実施し、長寿命化を図ります。
 - ・浮島処理センターの基幹的整備の実施
 - ・入江崎クリーンセンターの延命化工事の実施
- ○廃棄物処理を適正かつ安定的に行うため、処理施設等の建替計画を推進します。
 - ・橘処理センター建設工事の実施
 - ・堤根処理センターの建替えに向けた施設整備計画の作成等
 - ・堤根処理センターの建替えに伴う余熱利用施設整備計画策定に向けた検討
 - ・入江崎クリーンセンターの移転に伴う設計支援委託等の実施

健康福祉局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-2615 内) 32101

179, 516, 372千円 (対前年度比: +11.6%)

<主な事業>

総合的なケアの推進

地域包括ケアシステムの推進 (介護保険事業特別会計含む) 146.327千円

- ○川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括ケアシス テム連絡協議会による顔の見える関係づくりや、ポータルサイト等の様々な ツールを活用した情報発信等による意識づくりの取組を推進します。
- ○統計情報等を整理した地区カルテを活用し、コミュニティ施策等とも連携を 図りながら、地域課題の共有・解決に向けた取組を推進します。

認知症対策事業の推進

(介護保険事業特別会計含む) 122.985千円

○認知症の人や家族を地域で支える体制の強化を図るため、認知症地域支援推進員を各区に配置 します。(拡充)

地域リハビリテーションの推進

196,040千円

○誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができるよう、年齢や疾病、 障害の種別等で限定しない、全世代・全対象型の地域リハビリテーションを推進します。

自立生活に向けた取組の推進

生活保護業務の実施

58,409,770千円

○生活に困窮する市民に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するため生活保護費を支 給します。また、健康管理支援等の取組により医療扶助費の適正化を推進します。

生活保護受給者等に対する自立支援の取組

1, 375, 773千円

○生活保護受給世帯等の子どもの学習支援を市内17か所で実施します。また、受入対象を小学校 3年生から中学校3年生までに統一し、将来の自立を支援します。(拡充)

高齢者が生きがいを持てる地域づくり

高齢者外出支援乗車事業の推進

2, 992, 213千円

○高齢者フリーパス等のICTの導入に取り組みます。

高齢者の生きがいづくりの支援

599.503千円

○講座の実施や情報誌の発行等により、地域で活動するシニアの支援に取り組みます。(拡充)

高齢者福祉サービスの充実

介護人材の確保・定着支援の実施

1, 268, 886千円

○介護職員の家賃補助や資格取得に向けた支援、研修派遣時に事業所の運営安定化を図るための 代替職員の斡旋等、介護職員が長く働き続けられる環境づくりに取り組みます。(拡充)

高齢者の多様な居住環境の整備

3. 301. 525千円

- ○要介護高齢者の増加を踏まえ、介護老人保健施設等の介護サービス基盤の整備を進めます。
- ○老朽化が進む民間特別養護老人ホーム及び民間養護老人ホームの大規模修繕に対する支援に より、計画的な修繕を促し、入居者が安心して施設を利用できる環境を整備します。

かわさき健幸福寿プロジェクトの実施

32.621千円

○要介護度等の改善・維持の成果を上げた介護サービス事業所に報奨金等のインセンティブを付 与する「かわさき健幸福寿プロジェクト」を実施し、取組意欲の向上を促します。

高齢者生活支援サービスの実施

325, 446千円

○いつまでも安心して暮らしていただくため、高齢者の終活支援に取り組みます。(新規)

障害福祉サービスの充実

障害福祉サービス基盤の整備

17, 794, 281千円

- ○幸区及び高津区における障害者通所施設の整備に向けた取組を推進します。
- ○川崎授産学園の老朽化に伴う再編整備を進めます。

障害児等支援施策の推進

10.862.552千円

- ○障害のある子どもや発達に心配のある子どもの地域生活の充実に向け、子ども発達・相談センターの整備を進めます。(拡充)
- ○医療的ケア児を支援する障害福祉サービス事業所の充実に向けた取組を推進します。(新規)

障害者の自立支援と社会参加の促進

障害者就労支援等の推進

1, 438, 654千円

- ○適正な就労マッチングのための職場実習の実施と、障害者雇用を行う又は検討している企業へのよりきめ細かな支援を実施します。(拡充)
- ○依存症者の自立支援を進めるため、相談支援及び回復支援を行う依存症地域活動支援センター の整備を推進します。(拡充)
- ○ひきこもり地域支援センターにおける相談支援等を実施します。

健康で快適な生活と環境の確保

新型コロナウイルス感染症等の対策

5,511,003千円

○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、相談窓口の開設、受診・検査体制の構築、クラスター対応、医療費助成、療養者支援等を実施します。(拡充)

新型コロナウイルスワクチン等の予防接種の実施

15,678,535千円

○希望する全ての市民を対象に、安全かつ確実にワクチン接種を実施します。

医療供給体制の充実・強化

救急医療体制確保対策事業の推進

1,092,055千円

○休日や夜間における診療や重症・重篤患者に対する医療を適切に提供し、周産期医療を含めた 救急患者の円滑な受入体制の確保等を図ります。(拡充)

市立看護大学の運営

308,715千円

○令和4年4月に開学する市立看護大学において、医療の高度化・多様化への対応と、地域包括 ケアシステムに資する看護人材の養成に向けた取組を推進します。

生き生きと暮らすための健康づくり

がん検診等の実施

2, 255, 117千円

○各種がん検診を実施するとともに、個別受診勧奨により、受診率の向上を図ります。

健康づくりの促進

141,691千円

○市民の主体的な健康づくりの促進に向けた取組を推進します。(拡充)

こども未来局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-3733 内) 43101

134,653,114千円 (対前年度比:+5.4%)

<主な事業>

子育てを社会全体で支える取組の推進

地域における子育て支援の推進

602,146千円

○川崎の子ども・若者が、将来、国際的な幅広い視野を持って活躍することを目指して挑戦する 「新たな第一歩」を後押しするため、「子ども・若者応援基金」を活用し、様々な分野でグロー バルに活躍できる人材を産学官連携により育成する、グローバル人財育成事業を実施します。

小児医療費の助成

4,596,729千円

○子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、小学校6年生までの 通院及び中学校3年生までの入院に係る医療費の自己負担分を助成します。

質の高い保育・幼児教育の推進等

認可保育所等の受入枠の拡大

65,281,050千円

- ○認可保育所の新設等により保育受入枠の拡大を図ります。(拡充)
 - ・416 か所 31,840 人 → 436 か所 33,070 人 (20 か所 1,230 人増)
- ○地域型保育事業の新設等により保育受入枠の拡大を図ります。(拡充)
 - ・90 か所 1, 238 人 \rightarrow 93 か所 1, 285 人 (3 か所 47 人増)
- ○認可保育所・地域型保育事業(小規模保育A型・B型、事業所内保育) の保育士等の経験年数7年目以上の職員を対象とした国の処遇改善が的 確に反映されるための市独自の4万円保障を実施します。



○医療的ケア児の受入体制拡充のための施設設備の整備を推進します。(新規)

認可外保育施設への支援の充実

4,816,291千円

○川崎認定保育園の家賃補助対象を一部施設から全施設に拡大します。(拡充)

幼児教育の推進

9,248,851千円

- ○多様な教育・保育ニーズへの対応として、幼稚園の認定こども園化を推進します。(拡充)
- ○幼稚園における就労家庭の園児受入を促進します。(拡充)

保育士確保対策の推進

1, 429, 015千円

○遠隔地の学生等を含めた幅広い人材の確保のため、保育士宿舎借り上げ支援事業やリモートを 含む就職相談会・保育所等見学事業等を実施します。

認可保育所等の整備

2, 128, 377千円

- ○令和5年度の保育受入枠の拡大に向けて、認可保育所の整備を行います。
 - ・515 人分(認可保育所 10 か所 515 人分)
- ○保育と地域子育ての一体的な支援拠点として、保育・子育て総合支援センターを整備します。
 - ・高津区内(津田山保育園・地域子育て支援センター) 基本計画
 - ・宮前区内(土橋保育園・地域子育て支援センター) 新築工事
 - ・多摩区内(土渕保育園・地域子育て支援センター) 仮園舎整備

子どものすこやかな成長の促進

妊婦・乳幼児の健康支援の推進

2,738,213千円

○屈折異常や斜視などの弱視等の原因となる視機能上の問題を早期に発見し、治療を開始することを目的として、3歳児健康診査において屈折検査機器を導入します。(拡充)

こども文化センター・わくわくプラザの運営

4. 116. 500千円

○子どもに多様な体験や活動を提供する場であるとともに、市民活動の地域拠点として活用が図られるようこども文化センターの運営を行い、小学生が放課後等において安全・安心に過ごせる居場所としてわくわくプラザ事業を実施します。

子どもが安心して暮らせる支援体制づくり

児童虐待防止対策の推進

2. 250. 204千円

- ○児童虐待防止の意識啓発を図るための広報普及活動や相談支援体制の充実及び関係機関との 連携強化を図ります。また、職員の専門性向上を目的とした人材育成の取組を実施します。
- ○保護児童の生活環境改善等のため、中部児童相談所の一時保護所建替えの実施設計及び相談部 門移転に係る改修工事を実施します。
- ○児童相談所の狭あい解消のため、北部児童相談所の増築工事及びこども家庭センターの改修工 事を実施します。

児童養護施設等の運営

4, 150, 329千円

○「川崎市社会的養育推進計画」に基づき、施設の機能強化を推進していくため、職員の確保・ 定着・育成に向けた処遇の更なる改善として、保育士、児童指導員等を対象とする宿舎借り上 げ支援事業を実施するほか、乳児院における夜間体制の強化を実施します。(拡充)

ひとり親家庭の自立に向けた支援

3.740.088千円

- ○ひとり親自立支援の4本柱(「子育て・生活支援」「就業支援」「養育費確保」「経済的支援」)に 基づき支援施策の充実に向けた取り組みを実施します。
 - ・「学習支援・居場所づくり事業」について、市内17か所全ての会場において受入対象を小学校3年生から中学校3年生までに統一(拡充)
 - ・母子・父子福祉センターサン・ライヴでの就業支援に係る講座や法律相談等の充実(拡充)
 - ・養育費の立て替え払いを行う保証会社の活用に係る手数料の一部補助に加え、公正証書作成 に対する手数料の補助を新たに実施(拡充)
 - ・「高校生等通学交通費助成事業」「通勤交通費助成事業」の対象者をひとり親家庭等医療費助 成制度対象者まで拡充(拡充)
 - ・資格取得に向け養成機関等で修業しているひとり親(所得制限あり)に対し、家賃の実費について(上限月額4万円)、最大12か月分の貸付(償還免除規定あり)を実施(新規)

子ども・若者支援の推進

48,948千円

- ○様々な関係機関と連携し、課題を抱える子ども・若者の居場所づくりに取り組みます。(新規)
- ○食糧支援等を通じて家庭の状況を把握するなど、支援が届きにくい子どもや家庭を必要な支援 につなぐしくみづくりに取り組みます。(新規)

令和4年2月から新たに保育所・児童養護施設・わくわくプラザ等の職員について、現場で従事する者の収入の引上げ(月額 9.000 円程度)を目的に「処遇改善事業」を実施します。(拡充) 1,989,753千円

まちづくり局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-2939 内) 35101

21, 124, 972千円 (対前年度比: +3. 2%)

<主な事業>

魅力にあふれた広域拠点の形成等

川崎駅周辺地区の整備

283.968千円

- ○民間活力を活かしながら、本市の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備等 を進め、多様な賑わいや交流が生み出す魅力と活力にあふれた広域拠点の形成を推進します。
 - ・京急川崎駅西口地区における民間開発の誘導と基盤の再編整備の推進
 - ・川崎駅周辺の公共空間の有効活用に向けた取組の推進

小杉駅周辺地区の整備

263, 993千円

- ○民間開発の適切な誘導と支援により、商業・業務施設・公共施設・都市型住宅等がコンパクト に集積した個性と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進します。
 - ・小杉駅周辺における民間開発の誘導等
 - ・ J R 武蔵小杉駅新規改札口設置に向けた取組等の推進

新百合ヶ丘駅周辺地区の整備

20,930千円

○横浜市高速鉄道3号線延伸の機会を適切に捉え、周辺環境等の変化を見据えた土地利用転換の 誘導と交通結節機能の強化に向けた検討、賑わいの創出等に向けた取組を進めます。

個性を活かした地域生活拠点等の整備

登戸土地区画整理事業の推進

7.380.539千円

○登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の土地区画整理事業の早期完成を目指した取組を進めます。

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちづくりの推進

16,002千円

○登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における多摩川や生田緑地等と連携した水、緑などの自然が感じられるまちづくりを推進します。 (新規)

鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進

3,341千円

○駅を中心に多様な都市機能集積と交通結節機能の強化に向け、都市計画手続を進めます。

柿生駅前南地区の再開発事業の推進

35.525千円

○民間活力を活かした都市機能集積等に向け、都市計画手続に向けた取組を進めます。

安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進

木材利用の促進

21, 525千円

○公共建築物の木質化、民間建築物の木質化支援や普及啓発等を行い、木材利用を促進します。 計画的なまちづくりの推進 11.632千円

○都市機能等の立地適正化に向けた検討を行います。

広域的な交通網の整備

鉄道ネットワークの形成

94,032千円

○横浜市高速鉄道3号線延伸に向けて、新百合ヶ丘駅及び中間駅周辺の基盤整備に係る検討について、鉄道事業者等と連携しながら取組を進めます。

身近な交通環境の整備

身近な地域交通環境の整備

59, 251千円

- ○「地域公共交通計画」に基づき、身近な地域で安全・快適に生活できるよう、地域交通環境の 整備を推進します。
 - ・駅前広場の整備等を踏まえた、効率的かつ効果的な路線バスネットワークの形成に資する新 規路線・路線見直し等の検討
 - ・「地域交通の手引き」の見直しに伴うコミュニティ交通の充実・新たなモビリティサービスの 実証に向けた支援(拡充)

地域の主体的な防災まちづくりの推進

密集市街地の改善及び地域との協働による防災まちづくりの推進 99,630千円

- ○不燃化重点対策地区において、老朽建築物の除却や建替え時の耐火性能強化への助成により、 火災延焼被害の軽減に向けた取組を推進します。
- ○小田周辺地区では、地域住民との防災まちづくりの取組を推進します。
- ○火災延焼リスクの高い地区において、地域住民との協働による防災まちづくりを推進します。

まち全体の総合的な耐震化の推進等

民間建築物及び宅地等の耐震化の推進

421,686千円

- ○民間建築物の耐震改修等への助成等により耐震化への取組を支援し、災害に強いまちづくりを 推進します。
 - ・耐震診断を義務化した沿道建築物をはじめとした特定建築物の耐震化の促進
 - ・木造住宅や民間マンションの耐震化の促進
 - ・ブロック塀等の撤去工事への助成
- ○大規模盛土造成地の調査や擁壁改修に向けた支援等により、宅地の防災性向上を図ります。
 - ・崖地に関する新たな技術を活用した変動観測や相談支援(新規)

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

60,916千円

- ○JR南武線武蔵溝ノ口駅及び登戸駅におけるホームドアの整備を促進します。
- ○誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン社会の実現に向けたまちづくりの推進

JR南武線の駅アクセス向上

631,549千円

- ○JR南武線武蔵溝ノロ駅以北の片側改札口の5駅について、誰もが利用しやすい交通環境の整備に向けた取組を進めます。
 - ・稲田堤駅における橋上駅舎化等の整備の推進

<u>誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備</u>

住宅施策の推進

9. 225. 793千円

- ○市営住宅等の計画的な整備や適正な管理運用、民間賃貸住宅を活用した入居支援等を進めるなど、誰もが安心して暮らせるよう社会経済状況の変化に対応した住宅施策を推進します。
 - ・「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づく、市営住宅の建替え(初山住宅、生田住宅)
 - 住宅確保要配慮者等に向けた「すまいの相談窓口」の運営
 - ・住宅の維持管理等に関する情報提供や相談対応の実施、マンション管理適正化計画の策定

建設緑政局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-2785 内) 38201

27, 077, 150千円 (対前年度比:+6.7%)

<主な事業>

安全・安心な暮らしを守る河川整備

五反田川放水路の整備

1, 543, 572千円

○五反田川の洪水を地下トンネルを通して直接多摩川に放流する放水路の整備(令和5年度完成 予定)を進め、五反田川及び二ヶ領本川下流域の治水安全度の向上を図ります。

河川改修事業等の推進

- ○治水安全度向上のため、河川改修や老朽化した護岸の計画的な更新などを実施します。
- ○平瀬川の多摩川合流部の堤防整備に向けた詳細設計を実施します。(新規)

協働の取組による緑の創出と育成

都市緑化の推進や公園緑地の管理運営の推進

413,514千円

○市制 100 周年を迎える令和 6 年度に開催する「全国都市緑化かわさきフェア」を契機とした 緑の価値の創出に向けて、市民や企業等の多様な主体との協働・共創による取組を進めます。

緑地保全事業の推進

686. 781千円

○保全緑地等において、地域と連携した保全管理活動及び環境教育や身近な自然 環境とふれあう子どもたちの遊び場、学ぶ場の創出など、健全な樹林地の保全 と利活用の好循環の創出に向けた取組を進めます。



○保全緑地において、保全管理計画に基づく植生管理及びナラ枯れ対策や生田榎 戸特別緑地保全地区などにおける斜面地の安全対策を進めます。(拡充)

王禅寺 四ツ田緑地

魅力ある公園緑地等の整備

公園緑地等の整備

1,840,536千円

- ○富士見公園において、「富士見公園再編整備基本計画」に基づく再編整備の取組を進めます。
- ○生田緑地において、園路整備や「生田緑地ビジョン」に基づく植生管理等を進めます。
- ○夢見ヶ崎動物公園や菅馬場公園などにおいて、施設整備を実施するとともに、その他の身近な 公園においても公園施設の長寿命化の取組を進めます。
- ○公園緑地等において、誰もが気軽にスポーツを楽しめる場の提供や、子どもが自然の中で遊び 学べる場の創出に向けた取組を進めます。(新規)

等々力緑地の再編整備

277, 167千円

○「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、事業者選定の手続を行うなど、スポーツの聖地に ふさわしい安全・安心で魅力あふれる公園の整備に向けた取組を進めます。

多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進

多摩川緑地の利用環境向上や協働による多摩川の魅力発信 259.396千円

○「新多摩川プラン」に基づく施設整備や維持管理、市民及び企業等との協働・連携による環境 学習や体験活動、渡しの復活事業のほか、民間活力の導入など、新たな利活用による賑わいの 創出に向けた取組を推進し、多摩川の魅力を高めます。

地域の生活基盤となる道路等の維持・管理

道路、河川等維持補修事業の推進

3. 340. 689千円

- ○道路等における市民の安全で快適な生活環境の確保のために、「道路維持修繕計画」及び「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、適切な維持管理・補修等の取組を推進します。
- ○河川等における水害の最小化と環境の保全のために、適切な維持管理・補修を実施するととも に、台風等の被害も踏まえ、老朽化や機能低下が著しい河川施設の緊急的な大規模補修を効果 的に推進します。また、上河原堰堤の長寿命化工事を実施します。

交通安全対策の推進

安全施設整備の推進

429.280千円

○歩行者と車両の交通の安全確保や円滑化を図るため、歩道の設置、交差点のカラー化、防護柵、カーブミラー設置等の安全施設の整備を実施します。

放置自転車対策の推進

846,042千円

○効率的・効果的な放置自転車対策の推進とともに、地域特性や駐輪需要を踏まえた駐輪場整備、 保管所の再編に向けた取組を進めます。

身近な交通環境の整備

自転車活用に向けた取組の推進

9,001千円

○「自転車活用推進計画」に基づき、安全・安心で魅力と活力のある自転車を活用したまちづく りの推進に向けて、各種イベントや様々な機会を捉えた広報啓発等をはじめ、自転車施策の総 合的な取組を進めます。

自転車通行環境整備事業の推進

267, 550千円

○自転車等が道路を安全・安心・快適に利用できる自転車通行環境の充実に向けて、危険箇所の 安全対策及び自転車利用が多い駅周辺の道路・主要な幹線道路の整備を推進します。

市域の交通網の整備

道路改良事業の推進

6, 425, 127千円

(令和3年度補正予算対応 1,345,856千円)

- ○骨格的な幹線道路ネットワークの形成、広域拠点や交通結節点の機能強化及び道路の防災・安全性の向上を図るため、国道 409 号や都市計画道路世田谷町田線等の整備を推進します。
- ○早期に効果の発現が期待できる交差点改良などの緊急渋滞対策を推進します。

橋りょう整備事業の推進

686, 758千円

○道路交通の円滑化、利便性の向上や防災機能の強化を図るため、(仮称)等々力大橋や末吉橋等の整備を推進します。

連続立体交差事業の推進

2, 436, 732千円

○踏切事故や地域分断の解消、道路交通の円滑化、沿道環境の改善などを図るため、京浜急行大師線1期区間(小島新田駅〜鈴木町駅間)の取組を推進するとともに、JR南武線(矢向駅〜武蔵小杉駅間)の「別線高架工法」での事業化に向け、必要な都市計画手続き等を進めます。

広域的な交通網の整備

広域的な幹線道路網の整備推進

1,838,113千円

○市内の都市機能や市内外の拠点間の連携を推進する交通機能の強化を行うため、国道 357 号等の国直轄道路の整備促進など、広域的な幹線道路網の整備に向けた取組を実施します。

港湾局

<予算額>

問合せ先: 庶務課 200-3048 内) 41101

_ **一般会計 11,431,050千円**_ (対前年度比:△7.4%)

港湾整備事業特別会計 4,888,201千円 (対前年度比:+27.3%)

<主な事業>

広域連携による港湾物流拠点の形成

コンテナターミナルの利用促進・活性化

一般会計 501千円

港湾整備事業特別会計 1,653,926千円

- ○コンテナ取扱貨物量の増加に対応するため、コンテナ関連施設(バンプール・シャーシプール)の整備を実施します。
- ○国際コンテナ戦略港湾である京浜港(川崎港、東京港、横浜港)の国際競争力強化に向けた取組の一環として、新規荷主の獲得・航路の維持拡大等を目的とする「川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度」を実施します。



川崎港コンテナターミナル

港湾施設の整備・維持管理

一般会計 1,793,661千円

港湾整備事業特別会計 63, 183千円

- ○高度経済成長期を中心に整備した護岸や係留施設等の港湾施設の老朽化に対応するため、各施 設の維持管理計画に基づく点検診断を行い、効率的・効果的な施設の改良及び補修工事を行い ます。
- ○東扇島小型船溜まりの静穏度を確保するため、防波堤の整備を実施します。
- ○港湾施設照明のLED化整備を実施します。

川崎港海底トンネルの改修・維持管理

一般会計 289,617千円

○東扇島と市街地を結ぶ唯一の連絡路である川崎港海底トンネルについて、災害時における緊急 輸送道路としての機能を維持するため、トンネル付帯設備の改修を行います。

臨港道路東扇島水江町線整備の推進

一般会計 6,081,910千円 港湾整備事業特別会計 27,661千円

○東扇島の新たなアクセスルートの確保による物流機能の強化及び災害時の緊急物資輸送ルートの多重化による防災機能の強化を図るため、国の直轄事業による臨港道路東扇島水江町線の整備を促進します。また、関連事業として、関係道路の改良工事を実施し、交通需要に合わせた整備を推進します。

東扇島堀込部土地造成事業の推進 港湾整備事業特別会計 1,883,549千円

○川崎港の物流機能強化に資する港湾関連用地等を確保するため、海面埋立に必要な護岸等の整備を実施します。

カーボンニュートラル化の推進

一般会計 15.000千円

○港湾施設における太陽光パネルや自立型水素等電源などの導入に向けた検討を行うなど、川崎 港のカーボンニュートラル化に向けた取組を推進します。(新規)

ポートセールス事業等の推進

一般会計 1,742千円

港湾整備事業特別会計 10,215千円

○荷主等を対象にセミナーを実施するなど、中国・東南アジア方面との新規航路開設や既存航路 の安定化に向けたポートセールスを官民一体となって推進します。

災害・危機事象に備える対策の推進

港湾・海岸の防災・減災対策の推進

一般会計 65,427千円

○津波・高潮発生時の内陸部への浸水対策のため、海岸保全施設の改良を実施します。

市民に開かれた安全で快適な臨海部の環境整備

魅力ある緑地・親水空間の形成

一般会計 457,261千円

- ○不法投棄や放置車両への対策を強化するため、監視カメラや監視指導員を配置し、東扇島の環境美化及び交通環境の改善に向けた取組を推進します。
- ○平常時は人工海浜やバーベキュー広場など、港に集う人々の憩いの場として、また災害発生時 には基幹的広域防災拠点としての機能を有する東扇島東公園の適切な維持管理を行います。
- ○川崎みなと祭りや夜景ツアー等の拠点として、市民に親しまれている川崎マリエンの適切な維持管理を行います。また、オリンピックを目指すビーチバレーボール選手の強化拠点である川崎マリエン内ビーチバレーコート等の維持を行います。
- ○川崎港の魅力を更に高めていくため、港湾緑地等の施設や港湾空間を活用し、多くの人に親しまれるイベントの開催や観光船等の誘致など、新たな賑わい創出に向けた取組を推進します。

浮島2期地区埋立事業の推進

一般会計 1,393,052千円

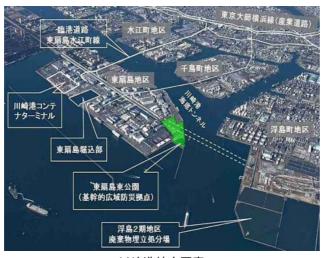
○市内公共工事から発生する建設発生土等を受け入れている浮島2期廃棄物処分場の埋立護岸 の維持管理及び適正な埋立作業を行います。

保安対策の推進

一般会計 372,076千円

港湾整備事業特別会計 87,817千円

- ○安全で安心して利用できる港を維持するため、港内巡視や保安警備、港内環境の保全を実施します。
- ○老朽化した海面清掃船の更新にあたり、環境に配慮した船舶の導入検討及び基本設計を実施します。



川崎港航空写真



人工海浜 (東扇島東公園)



川崎みなと祭り

臨海部国際戦略本部

<予 算 額> 問合せ先:臨海部事業推進部 200-3738 内) 42101

1,326,112千円 (対前年度比:+41.3%)

<主な事業>

臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備

臨海部の活性化推進

26,278千円

- ○「臨海部ビジョン」で示した将来像の実現を目指し、投資促進制度を活用した基幹産業の高度化・ 高機能化の促進に向けた取組や、立地誘導の仕組 みの創設に向けた検討、企業の枠を超えた人材育 成等の取組を進めます。
- ○川崎臨海部の価値向上に向け、各種メディアを活 用したPRの実施や、教育機関と企業との連携に よる次世代を担う子ども達等に向けた新たな取組



力強い産業都市づくりを担う川崎臨海部

の創出などにより、川崎臨海部の認知度向上や理解促進を図るとともに、これからの川崎臨海 部のイメージを確立するための戦略的なブランディングを推進します。

国際戦略拠点地区の整備推進

498,363千円

- ○キングスカイフロントの研究成果を新事業創出や社会実装につなげるため、産業振興財団と協働し、研究・事業活動の活性化支援や市内産業への波及、起業を促進するインキュベーション機能の強化に向けた取組を実施します。(拡充)
- ○世界最高水準のライフサイエンス研究開発拠点の形成に向けて、研究成果から自律的に新たな産業が生まれる「エコシステム」の形成を目指した取組を推進します。また、キングスカイフロントの情報発信



多摩川スカイブリッジから望む キングスカイフロント

- や域内外の交流・連携促進等を行うとともに、多摩川スカイブリッジの開通を契機とした近隣 自治体との産業連携を進めます。
- ○キングスカイフロントを国際戦略拠点にふさわしい魅力あるエリアとするため、良好な景観形成及び防災力の向上、国内外からの来訪者の利便性に配慮した機能導入等、高水準・高機能な拠点整備の取組を推進します。

サポートエリアの整備推進

170,919千円

- ○大師橋駅において、キングスカイフロントをはじめとした川崎臨海部へのアクセス向上を図る ため、交通結節機能を強化する駅前交通広場の整備に向けた取組を進めます。
- ○塩浜3丁目周辺地区において、市有財産を有効活用した交通レストや憩い交流機能等の導入に 向けた検討及び幹線道路における路上駐停車対策の取組を進めます。

戦略拠点の形成推進

40,659千円

○南渡田地区において、川崎臨海部の機能転換を牽引する新産業創出拠点の形成を目指し、拠点 整備計画に基づく企業誘致や基盤整備に向けた取組を進めます。(拡充)

臨海部の大規模土地利用の推進

103, 493千円

○川崎臨海部における基幹産業の事業再編の進展に対応するため、地域の持続的な発展につなげ る大規模な土地利用転換の取組を進めます。(拡充)

交通ネットワークの形成推進

140.415千円

- ○新たな基幹的交通軸について、路線バスの機能強化を図るBRT (Bus Rapid Transit) の川崎 駅~水江町間ルートへの導入に向けた環境整備等の取組を進めます。また、川崎臨海部の新た な交通拠点に求められる機能や規模等の検討を進めるとともに、京浜急行大師線連続立体交差 事業や南渡田地区拠点整備計画などの周辺関連事業等の進捗状況を踏まえ、新たな交通拠点整 備に向けた取組を進めます。
- ○多摩川スカイブリッジを活かして、羽田空港周辺地区と川崎臨海部を結ぶアクセス機能の強化 に向けた取組を進めます。
- ○臨海部の通勤環境の向上に向け、社会情勢の変化等を踏まえた通勤手段の実態等の調査を行う とともに、京浜急行大師線沿線駅周辺において、企業送迎バスの乗降環境整備等の取組を進め ます。

水素社会の実現及びカーボンニュートラルコンビナートの形成に向けた取組の推進

「川崎水素戦略」等に基づく取組の推進

32. 703千円

- ○世界的な脱炭素化の潮流を踏まえ、СО₂フリー水素等の供 給・需要拡大を目指し、水素等へのエネルギー転換などの プロジェクト創出に向けた調査・協議を実施します。
- ○「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」に基づき、 水素利用等の拡大に加え、炭素循環やエネルギーの地域最 適化に向けた取組を推進します。(新規)
- ○水素エネルギーの利活用に関する理解促進に向け、水素の 取組を紹介するパンフレットの作成や普及啓発施設等を活 使用済プラスチックから水素等を製造 用した情報発信を行います。



するプラント(昭和電工川崎事業所)

ナノ医療イノベーションの推進

ナノ医療イノベーションの推進

- ○ナノ医療イノベーションセンター (i CONM) の 運営支援を通じて、体内を自律巡回するウイルスサ イズのカプセル「スマートナノマシン」による新し いがんの治療法等の研究成果の実用化を進めます。
- ○研究支援に戦略的に取り組むことにより、iCON Mにおけるイノベーションの創出をより一層加速し ます。

304,726千円



ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

危機管理本部

<予 算 額> 問合せ先:総務企画局危機管理室 200-2478 内) 22506

843, 458千円 (組織新設)

<主な事業>

災害・危機事象に備える対策の推進

自主防災組織等の支援

63, 244千円

- ○自主防災体制の拡充・連携・強化を図るため、自主防災組織への活動助成金、防災資器材購入 補助金等による支援を実施します。
- ○災害時における地域の多様な主体による支え合いの実現を目指し、自主防災組織等に対する各種相談、活動支援等を実施します。

効率的・効果的な防災啓発の実施

33,362千円

- ○「備える。かわさき」や防災タブロイド紙などの冊子等を活 用し、災害に対する正しい知識の普及と市民の防災意識の高 揚を図ります。
- ○ウェブ等の多様な媒体を活用した効率的・効果的な啓発手法 を検討し、情報を発信していきます。
- ○「備えるフェスタ」や「こども防災塾」等の防災イベントの 開催や、「ぼうさい出前講座」などの実施により、幅広い層 を対象とした防災啓発を進めます。



イベントでの防災啓発

危機管理体制の充実・強化

- ○「かわさき強靱化計画」の進捗管理を行います。
- ○各区の実情や課題等に応じた実践的な総合防災訓練を実施します。
- ○職員の防災意識・災害対応能力向上のための庁内向け研修、 訓練のほか、これまでの災害対応等を踏まえた人材育成を推 進し、職員一人ひとりの能力等を向上させることで、危機管 理体制の強化を図ります。
- ○災害に対して迅速・的確に対応できるよう体制を整備します。

107,539千円





区総合防災訓練の様子

防災拠点の機能強化

- ○震災時には、多数の避難者、負傷者の発生が予想されるため、 発災直後に必要となる食糧、生活必需品及び災害応急対策に 必要な資器材等の計画的な備蓄を行います。
- ○備蓄倉庫の維持管理に努めるとともに、備蓄倉庫の浸水対策 のため、浸水深の調査、倉庫内部、外部の浸水対策等の検討 を行います。また、避難所及び備蓄倉庫としての機能を有す る川崎市南部防災センターについて、施設の今後のあり方を 検討するため、施設の健全度や地域特性の把握に関する調査 を行います。(拡充)

100, 216千円



備蓄倉庫



南部防災センター

防災行政無線の整備

439, 198千円

- ○高い耐震性能と業務継続性を確保した新本庁舎への移転に伴い、防災行政無線等の情報通信システムについても設備の移転・整備を進め、安定性の向上を図ります。(拡充)
- ○同報系屋外受信機の増設を進めるとともに、防災行政無線の更新・整備を進めていきます。

総合防災情報システムの整備

- ○災害対策本部における防災関連情報の収集・発信の向上を図るために令和3年度に再整備した、総合防災情報システム、 防災ポータルサイト及びかわさき防災アプリの運用管理を行います。
- ○最新のICT技術を活用したシステムの機能改善を図ります。

78.274千円



防災ポータルサイト

臨海部の防災力向上

1,990千円

○津波対策やコンビナート災害対策などを実施し、臨海部の総合的な防災力の向上を図ります。

帰宅困難者対策の推進

930千円

○一斉帰宅の抑制の周知や帰宅困難者用一時滞在施設の確保等を行い、災害時における混乱を抑制するとともに、二次災害を防止します。



一時滞在施設マップと簡易食料

消防局

<予 算 額>

問合せ先:庶務課 223-2501 内) 48101

17, 141, 035千円 (対前年度比:△1.1%)

<主な事業>

消防力の総合的な強化

消防庁舎等の整備・維持管理

○老朽化した宮前消防署宮崎出張所について、機能の見直しを 図り、女性消防職員が当直可能な庁舎として改築し、消防庁 舎の防災拠点機能を強化します。(新規) (令和4年度設計、5年度工事)

○老朽化した中原消防団住吉分団住吉西班器具置場を改築し、 防災拠点の整備による地域防災力の強化を図ります。 (令和4年度設計、5年度工事)

503,551千円



改築後の消防出張所 (イメージ)

消防指令体制の整備・維持管理

- ○消防指令センター・消防署・消防出張所の消防通信機能の適 正な維持、管理を実施するため、119番通報を受信する消 防指令システムのハードウェアを更新するとともに、大規模 災害時における部隊運用の改善等、システムの一部機能強化 を図ります。
- ○消防・救急無線の安定稼働を確保するとともに、関係法令等 の改正に対応するため、携帯型無線機及び半固定型無線機の 更新整備を行います。

1, 334, 309千円



消防指令センター

消防団活動の充実強化

232, 706千円

- ○消防団活動の広報等による入団促進のほか、年額報酬について地方交付税単価を基に階級別に 改定するとともに、出動報酬を新設(費用弁償からの改定)することで消防団員の処遇を改善 し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図ります。(拡充)
 - ·年額報酬 一律 36,500 円 → 団員 36,500 円 ~ 団長 82,500 円
 - ・出動報酬 3,500円/回 → 災害 8,000円/日 非災害 3,500円/日



消火に従事する消防団

消防車両・救急車両の整備・維持管理

- ○人口増や社会情勢の変化により災害が複雑多様化している 状況に対応するため、消防力を強化していく必要があり、水 槽付消防ポンプ自動車や指揮車などの消防車両を計画的に更 新します。また、首都直下地震等の巨大地震に対して、防災 意識の高揚、安全確保に必要な知識の向上を図るため、地震 体験車をVRによる疑似体験機能を強化した車両に更新しま す。(令和4年度19台更新)
- ○増加する救急需要に対応するため、救急車6台を更新し、更 新後の旧車両は非常用救急車として配置換えします。

752,023千円



水槽付消防ポンプ自動車

消防ヘリコプターの維持管理

- ○火災・救助・救急活動を行う消防へリコプターの飛行時間や 経過年数に応じて定められた機体の定期検査を行い、災害活動に備えます。
- ○新規採用の操縦士及び整備士に対し本市が所有するヘリコプターの限定資格を取得させるほか、二人操縦士体制や地上勤務員の配置等を定める「消防防災ヘリコプターの運航に関する基準」を踏まえた24時間運航体制の確立に向けて体制強化(増員)を図ります。

294.109千円



そよかぜ1号(手前) そよかぜ2号(奥)

医療供給体制の充実・強化

救急救命士の養成

55,411千円

○人口の増加や高齢化の進展等に伴う人口構造の変化や、在宅介護・単身世帯の割合の増加等により、今後も救急需要の増加が見込まれることから、救急救命士の常時乗車体制を維持していくとともに、より高度な救急救命処置が行える救急救命士を養成することで、病院に到着するまでの救護体制を確立し救命効果の向上を図ります。



救急救命士の研修



救急救命士による救急救命処置

教育委員会事務局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-3260 内) 50101

111,715,440千円 (対前年度比:△2.1%)

<主な事業>

「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

キャリア在り方生き方教育の推進

6, 254千円

○「キャリア在り方生き方教育」について、キャリア・パスポートを活用しながら、小学校から高 等学校までの計画的・系統的な実施に向けた取組を推進します。

確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組

3. 964. 546千円

- ○一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら、 「確かな学力」「豊かな心」を育てる取組を推進します。
 - ・英語でコミュニケーションする機会の充実のため、ALT (外国語指導助手) を配置
 - ・学校司書を配置している小学校を56校から70校に拡大(拡充)
 - ・「かわさきGIGAスクール構想」を推進するとともに、学習履歴(スタディ・ログ)などの 教育データを活用する環境の整備(新規)
 - ・市学習状況調査の小4~中3~の拡充に向け、小学校2校及び中学校1校でモデル実施(拡充)

健康給食の推進

11,378,875千円

○野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった川崎らしい特色ある健康給食を実施します。

一人ひとりの教育的ニーズへの対応

特別支援教育の充実

663,844千円

- ○小・中学校等に一人ひとりの医療的ケアのニーズに応じて看護師が学校を訪問します。
- ○中央支援学校高等部分教室及び大戸分教室の狭あい化等に対応するための整備に取り組みます。
- ○特別支援学級に外部人材を活用した介助・支援を実施します。(拡充)
- ○通級指導教室の支援充実に向けて、エリア拠点校の設置と巡回方式の指導を実施します。(新規)
- ○就労支援員を2名から3名に増員し、支援対象を高等学校定時制まで拡大します。(拡充)

児童生徒への支援と相談の場の充実

665,790千円

- 〇中学校の支援教育コーディネーターの体制を整備し、不登校対策等の充実を図ります。(拡充)
- ○スクールカウンセラー、学校巡回カウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを増員し、児童 生徒一人ひとりに寄り添った教育の支援の充実を図ります。(拡充)
- ○オンライン学習サービスを市立全校に展開し、不登校児童生徒の学習を支援します。(拡充)

日本語指導等の充実

90,306千円

〇小・中学校等において日本語指導を担当する非常勤講師や初期支援員の配置、通訳・翻訳の取組 を実施することで、海外帰国・外国人児童生徒のニーズに応じた支援を推進します。

市民の文化芸術活動の振興

文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりの推進

936.111千円

- ○国史跡橘樹官衙遺跡群について、史跡指定地の公有地化、調査研究及び史跡整備を推進します。
- ○文化財の保存・活用に関する総合的な計画となる文化財保存活用地域計画を策定します。(新規)
- ○青少年科学館の今後の事業方針を定めるため、運営基本計画を策定します。(新規)

安全で快適な教育環境の整備

学校安全対策の推進と教育環境の整備

1,764,417千円

(令和3年度補正予算対応 3,318,505千円)

- ○地域社会全体で学校の安全確保に取り組み、防犯力の向上や防災教育の充実により、総合的な安全対策を推進します。また、教育環境の向上を目指し、トイレの快適化やバリアフリー化、学校施設の防災機能の強化等を進めます。
 - ・学校トイレの改修(26校)【補正含む】(全市立学校のトイレ快適化完了)
 - ・エレベータの設置工事(4校)【補正含む】

学校施設長期保全計画の推進

2.989.373千円

(令和3年度補正予算対応 7.763.382千円)

- ○「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備・予防保全を実施し、より多くの学校 の教育環境の改善と長寿命化による財政支出の縮減を図ります。
 - ・実施校数 校舎 36 校、体育館 23 校【補正含む】

児童生徒の増加や義務標準法の改正に対応した教育環境の整備 3,469,971千円 (令和3年度補正予算対応 75,434千円)

- ○児童生徒の増加や35人学級の段階的実施に対応した校舎増築や小学校新設の取組を進めます。
 - ・南百合丘小学校の校舎増築設計及び工事の実施(新規)
 - ・新川崎地区の小学校新設に向けた実施設計の実施

自ら学び、活動するための支援

生涯学習環境の整備

887,126千円

- ○身近な地域における活動の場として、学校施設の更なる有効活用を推進します。(拡充)
 - ・Kawasaki教室シェアリングの推進
 - ・みんなの校庭プロジェクトの取組の推進
- ○既存施設(労働会館)の活用による川崎区の市民館整備に向けて、実施設計等を行います。
- ○宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に向け、取組を推進します。

図書館の運営 981,587千円

○図書館全体で資料の収集・保存や有効活用に向けた取組を推進します。

学校の教育力の向上

地域等による学校運営への参加促進

5.627千円

○学校・家庭・地域社会が一体となって学校運営に取り組む学校運営協議会を設置する学校(コミュニティスクール)を28校から56校に拡大します。(拡充)

学校運営体制の再構築等

312, 239千円

○教職員の負担軽減のため部活動指導員の複数配置(2名)を中学校3校で実施します。(拡充)

家庭・地域の教育力の向上

地域の寺子屋事業の推進

106,933千円

○地域ぐるみで子ども達の学習や体験活動をサポートする「地域の寺子屋」を、全小中学校での実施に向けて随時開講(新規 15 か所予定)します。また、寺子屋先生の養成を図ります。(拡充)

地域における教育活動の推進

39,812千円

○「川崎市子ども会議」等の充実により、子どもの育ちと意見表明を促進します。(拡充)

会計室

<予算額>

問合せ先:審査課 200-3325 内) 49101

150,491千円 (対前年度比:+1.0%)

<主な事業>

会計事務の適正かつ効率的な管理運営

150.491千円

- ○会計管理者の補助組織として、支出負担行為に関する確認、現金、有価証券及び物品の出納保管、決算の調製等を行います。本市の支出が適正に行われるよう支出命令等の審査をするとともに、公金を確実かつ有利に保管・運用することで、本市の公金の適正な管理に取り組みます。
- ○事務負担の軽減及び費用の節減を図るため、庁内で共通して使用する備品及び消耗品を一括して調達し、必要とする部署へ払出しを行います。

市民オンブズマン事務局

<予 算 額> 問合せ先:事務局 200-3693 内) 55911

66. 798千円 (対前年度比: +1. 9%)

<主な事業>

市民オンブズマン制度の運営

32. 336千円

○市民からの市政に関する苦情申立ての処理や市政の監視などを、市民の立場に立って行うとと もに、必要に応じ、市長や市の関係機関に勧告・意見表明などを行い、行政の改善に努めます。

人権オンブズパーソン制度の運営

34. 462千円

○いじめ、虐待など子どもの権利の侵害や、DV(ドメスティックバイオレンス)、セクハラなど 男女平等に関わる人権の侵害について相談や救済の申立てを受け、関係機関などと連携・協力 して問題解決を図ります。

いじめや友達のことなどで、 つらいとき、こまっているとき、電話してね。

手どもあんしんダイヤル(編輯) 0120-813-887

artarilariariariarial artial arti

人権オンブズパーソン相談カード

選挙管理委員会事務局一

<予 算 額>

問合せ先:選挙課 200-3423 内) 56102

722. 265千円 (対前年度比: △49. 0%)

<主な事業>



選挙マスコット 「イックン」

選挙の適正な執行

442. 155千円

○3年に一度執行される参議院議員通常選挙の適正な管理執行を行います。

啓発事業の推進

2. 459千円

○選挙に関する講演会の開催、市立学校を中心とした選挙出前講座の実施、市内中学校の生徒会 役員選挙への協力、高校生・中学生への啓発チラシの配布等、選挙権年齢の引下げを踏まえた 若年層への啓発を中心に明るくきれいな選挙、投票総参加のための取組を進めます。

監 査 事 務 局

<予 算 額>

問合せ先:行政監査課 200-3437 内) 55710

164, 273千円 (対前年度比: +0.3%)

<主な事業>

監査機能の強化

1, 026千円

○公営企業会計等の監査及び決算審査における財務諸表等の確認や分析において、公認会計士の 知見を活用することで、更なる職員の能力・専門性の向上を図るとともに、監査機能の強化を 図ります。

人事委員会事務局

<予 算 額>

問合せ先:調査課 200-3341 内) 55811

119.074千円 (対前年度比:△2.8%)

<主な事業>

職員採用試験等の実施

19.661千円

○職員の採用や昇任に係る競争試験及び選考を実施します。 また、職員採用案内パンフレットの作成や職員採用説明 会及び専門職を対象とした職場見学会等の開催、合同企 業説明会への出展やオンラインによる説明会、WEBセ ミナーを実施するなど、様々な広報活動を通して多様な 有為の人材確保の取組を推進します。



職員採用案内パンフレット

議会局

<予 算 額>

問合せ先:庶務課 200-3366 内) 53101

1,696,516千円 (対前年度比:△0.2%)

<主な事業>

議事運営の取組 24, 727千円

○本会議、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の議事運営並びに会議録等の作成を行う とともに、会議録検索システムの運用及びインターネット上への公開を行います。

議会広報の充実 72,879千円

- ○議会に対する関心と理解を高めるため、議会の活動を広く市民にお知らせします。
 - ・広報紙「議会かわさき」の発行(年4回)
 - ・「夏休みこども議場見学会」等の実施
 - ・市議会広報ポスターの市バス等への掲出
- ○「市民に身近な開かれた議会」の一層の推進を図るため、本会議等の模様をインターネット等で中継します。
 - ・インターネットによる本会議、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会、常任委員会、議 会運営委員会及び大都市税財政制度調査特別委員会等の生中継・録画中継の実施
 - ・各区役所でのモニター中継の実施
 - ・スマートフォン及びタブレット端末に対応した生中継・録画中継の実施
- ○テレビ番組を利用して、議会活動のPRを行います。
 - ・「議長・副議長 新春対談」(1月放送)
 - ・「市議会座談会~予算の審議を前に~」(2月放送)



夏休みこども議場見学会 (令和元年度)



インターネット議会中継 (委員会)



議長・副議長 新春対談

文書共有システムを活用した取組

5. 914千円

○効率的な議会運営のため、タブレット端末を利用した文書共有システムを活用し、本会議や常任委員会等の会議をペーパレスで運営するとともに、市議会議員への情報提供を円滑に行います。

議員報酬の支給等

981,651千円

○市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給等を行います。